

科目名	人文社会看護学演習Ⅱ Humanities and social Nursing Seminar Ⅱ		担当教員 (研究室番号)	小池 敦 (510) 浦野 茂 (503) 安部 彰 (508)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	小池 : atsushi.koike@mcn.ac.jp 浦野 : shigeru.urano@mcn.ac.jp 安部 : akira.abe@mcn.ac.jp				
履修年次	1年次 後期	科目 区分	専門科目	選択 区分	コース 必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否
科目目的	看護ケアの実践とその対象となる人々の生活経験(日常生活、誕生、病気、障害、死など)をめぐる問題や課題について、心理学・社会学・倫理学の先行研究を検討することを通じ、理解を深める。										
ディプロ マ・ポリ シー (DP)	主要なDP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追及していける研究能力を身につけている。									
	関連するDP	4. 看護教育者あるいは看護実践者としての基礎的な教育能力を修得している。									
到達 目標	看護ケアの土台を構成している心理的体験と社会的環境・倫理性について、既存の看護実践の捉え直しにもとづき、その新たなあり方を構想する能力を獲得することが、この科目の目標です。										
成績評価方法 (基準)	授業における報告(50%)、授業への参加状況(50%)										
教科書	適宜指示します。										
参考書等	適宜指示します。										
受講者への メッセージ	既存の看護実践と医療のあり方やそれらの基本的な前提について、看護学からはいったん離れて心理学・社会学・比較文化学の観点から検討し直すことができれば、と考えています。										
備考											
回	学習項目			学習内容				主担当 教員	授業 方法		
1回	オリエンテーション			この授業の目的・概要・進め方について説明する。				全員	講義		
2回	心身医学と行動医学			心身医学や行動医学の分野における最新の文献を抄読する。				小池	講義 演習		
3回	疾患と行動			このテーマの最新の文献を抄読する。				小池	講義 演習		
4回	心理的アセスメント			医療領域で用いられているさまざまな心理的アセスメントについて、評価的な視点からの討議を行う。				小池	講義 演習		
5回	心理的援助法			医療領域で用いられるさまざまな心理的援助法について、横断的に比較検討する。				小池	講義 演習		
6回	医療社会学の視点			医療に関わる諸現象(誕生・健康・病気・障害・死)に対して社会学がどのような点に注目して研究を蓄積してきたのか、理解を深める				浦野	講義 演習		
7回	社会的・歴史的コンテクストから見たヘルスケアシステムと医療実践			医療政策史の文献にもとづき、ヘルスケアシステムと医療実践における現在の課題を検討する				浦野	講義 演習		
8回	「病いillness」の概念			医療人類学の文献にもとづき、現代の医療実践を理解する上での鍵となる「病いillness」の概念を「疾患disease」概念との対比において理解する				浦野	講義 演習		
9回	健康・病気と社会構造			健康・病気と社会構造(社会的格差等)との関係について、研究論文の精読を通じて理解を深める				浦野	講義 演習		
10回	ディスカッション:看護ケアをめぐる心理・社会・倫理			看護ケアの心理的・社会的側面についての事実理解を振り返りながら、それらをめぐる規範的課題の所在について検討する				浦野	講義 演習		
11回	生命・医療倫理の主要概念(1)			生命・医療倫理の主要概念にかんする先行研究を批判的に検討する。				安部	講義 演習		
12回	生命・医療倫理の主要概念(2)			生命・医療倫理の主要概念にかんする先行研究を批判的に検討する。				安部	講義 演習		
13回	生命・医療倫理の諸問題(1)			生命・医療倫理の諸問題を扱っている先行研究を批判的に検討する。				安部	講義 演習		
14回	生命・医療倫理の諸問題(2)			生命・医療倫理の諸問題を扱っている先行研究を批判的に検討する。				安部	講義 演習		
15回	まとめ			ディスカッションを通じ、心理的側面・社会的側面・倫理的側面からの看護ケアのアプローチの意義について検討する。				全員	講義		